

製品 KOD SYBR® qPCR Mix を用いた実施例

ChIPターゲットの効果的な増幅

従来のqPCR試薬で解析が困難だったChIP (Chromatin Immunoprecipitation) ターゲットについて、KOD SYBR® qPCR Mixを用いて解析した結果をお客さまよりご提供いただきましたのでご紹介いたします。

実験方法

サンプル ヒトゲノムDNA

サンプルの調製方法 QIAGEN社のQIAamp® DNA Mini Kitキットを用いて液体培養した細胞よりヒトゲノムDNAを精製した。

遺伝子名 転写制御領域

ターゲット長 202bp

プライマー配列 F: 塩基数20 Tm値70.1 GC% 65% R: 塩基数20 Tm値77.3 GC% 70%

反応液組成 KOD SYBR® qPCR Mix、A社リアルタイムPCR試薬は、共に以下の組成で実験を行った。

qPCR酵素mix	12.5 μ l
Primer F	0.5 μ l
Primer R	0.5 μ l
Template	1 μ l
DDW	10.5 μ l
反応液	25 μ l

PCRサイクル <KOD SYBR® qPCR Mix>

98°C 2min.



(98°C 10sec., 60°C 10sec., 68°C 30sec.) × 40



融解曲線解析 60°C to 95°C

<A社qPCRキット>

94°C 2min.



(94°C 30sec., 55°C 30sec., 72°C 1min.) × 45

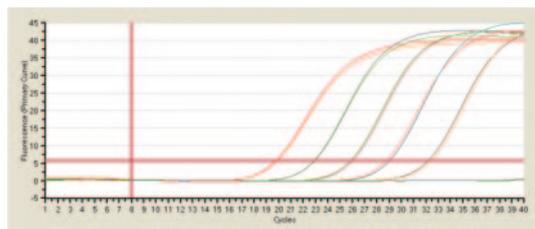


融解曲線解析 60°C to 95°C

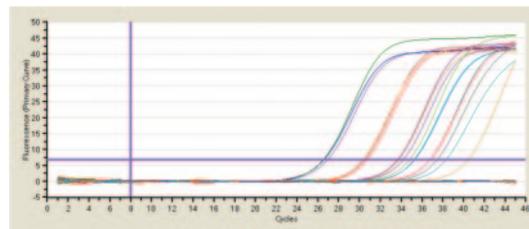
測定機器 TaKaRa Thermal Cycler Dice® Real Time System TP800

結果

各qPCR Mixの増幅曲線の比較



KOD SYBR® qPCR Mix



A社qPCRキット

先生からのコメント

これまで使ってきたqPCR MixでかからなかったPCRが、KODによって良好な結果が得られ、大変感謝しております。暗礁に乗り上げていた実験に光が見えてきたような気がしています。有難うございました。